

小学校教科等研修講座(道徳)

教科等指導員 南小学校 教諭 村上 英里

担当指導主事：向井 敬子

キーワード：小中連携 道徳の評価 教師のスキルアップ

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
10月16日(金)	大阪教育大学 金光 靖樹 教授 南中学校 甲斐 公美子 教諭 寺井 浩治 教諭 南小学校 村上 英里 教諭	南小学校 6年3組教室・授業 なかよしルーム・事 後研修会、講演	題材「どうしてルールやきまりはあるのか？（兵庫版道徳副読本「心ときめく」）（第6学年）」 講演テーマ「自尊感情…低くて良い時、良くない時」

2 主な内容

(1) 授業研究

① 授業公開「どうしてルールやきまりはあるのか？（第6学年）」

内容項目「きまりを守る」を考える教材として「どうしてルールやきまりはあるのか？」を使用し授業を行った。南中学校と南小学校の小中連携事業の一環とし、6年生の授業に南中学校の教員にも参加していただいた。



② 事後研修会

「道徳の評価」に視点をあて、授業参観を行い、今後の動向を考えグループ討議をし、評価の実際についての意見交流をした。

(2) 金光靖樹教授による講演「自尊感情…低くて良い時、良くない時」

① 授業についてご講評いただき、「道徳の評価」は文章表記で行うことや、授業の目標に迫るような発言をしたかどうか評価の観点になるということなどを指導していただいた。

② 自分の悪い部分も認め、さらに良い自分へと高めようとする感情が「自尊感情」であるということや、成功体験を積み重ねることが自尊感情の高まりにつながるということなど、具体的にお話していただいた。

3 成果と課題

(1) 成果

① 「道徳の評価」を意識して授業をし、また参観する中で、教師が授業のねらいを明確にもつことの大切さを実感した。また、評価するためには児童の考えを書き込むワークシート作りや授業中のつぶやきの扱い方について教師のスキルアップが必要であることにも気づくことができた。

② 「中1ギャップ」の軽減を目指し、中学校教員にも授業に参加してもらう「小中連携授業」を公開し、市内教員に示すことができた。

(2) 課題

① 道徳の評価をするにあたって、ワークシート作りや児童の発言の扱い方など、教師のスキルアップが必要である。

② 道徳の授業の中では、正しい行為をマニュアルとして教えるのではなく、教師自身が一つ一つの行為に道徳的価値を見だし、児童と共に考えていこうとする姿勢をもたなければいけない。